

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和7年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	令和7年4月1日から 令和12年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（A）	実績（B） （モニタリング時）	対計画比率 （B / A × 100）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		328	328	100.0%
	延べ利用者数（人）		313,135	315,090	100.6%
	事業開催 回数	必須事業（回）	－	－	－%
		自主事業（回）	－	－	－%
収支状況	収入	指定管理料（円）	－	－	－%
		利用料金収入(売上)（円）	287,223,815	300,492,392	104.6%
		自主事業収入（円）	－	－	－%
		その他の収入（円）	－	－	－%
	収入計（円）…①		287,223,815	300,492,392	104.6%
	支出	人件費（円）	117,998,074	120,553,478	102.2%
		維持管理経費（円）	111,582,828	107,253,086	96.1%
		自主事業関係経費（円）	－	－	－%
		その他の支出（円）	54,375,660	52,179,968	96.0%
	支出計（円）…②		283,956,562	279,986,532	98.6%
	収支（①－②）（円）…③		3,267,253	20,505,860	627.6%
	諸経費（本社運営費など）…④		－	－	－%
	総収支（③－④）（円）		3,267,253	20,505,860	627.6%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：328日 定休日：37日 11日(9月・1月・2月) 利用者数：378,416人 (前期比14,159人増) ※令和5年度からレストラン事業を業務委託としたが、その利用者数63,326人については、上記表の利用者数に含めていない。	【事業の実施状況について】 温泉部門については、各種イベントの実施、イルミネーション事業、深夜営業対応等を行い、利用者満足度向上及び集客強化に努めた。 宿泊部門については、備品刷新やDM発送等による閑散期対策の実施や、団体貸切利用にも対応し、利用促進を図った。 直売部門については、オリジナル商品の開発や地元事業者商品の仕入販売を強化し、施設独自商品の充実に努めた。 また、全体として、各種地域イベントへの参加、SNSを活用した広報活動、地域団体との連携事業等を積極的に実施し、地域観光拠点施設としての機能強化に努めた。	【収支状況について】 (収支) 総収支(純利益)は前年度と比較し、人件費の高騰及び物価高騰の影響を受けた。また、令和7年11月から政策金融公庫の借入金返済が開始されたことにより、3,982千円の減収となった。
---	---	---

所管課の評価（指摘事項）		
【開館日数・利用者数について】 開館日数は、年間計画どおりであった。 レストラン部門を含めた利用者数は前年度と比較して増えており、好調に推移している。	【事業の実施状況について】 各部門において、利用者満足度向上、集客強化、市の主要な観光拠点施設としての機能強化に努めるなど、様々な取組を積極的に行ったことは評価できる。	【収支状況について】 前年度と比較し、収支は、減収となっているものの、各種イベントの実施、広告宣伝の強化、利用者サービスの維持向上、運営改善などに努めている。これらの取組が、利用者の増加につながり、収益の増加にもつながったと評価できる。

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）			確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている		日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	60人	人員配置計画、実地、出勤簿	65人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	3回/年	研修マニュアル	実施回数 3回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	50%	人員配置計画	75% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善

	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
上期は天候に恵まれたことに加え、各種イベントの実施、広告宣伝の強化、SNS等を活用した情報発信により、利用者数及び売上げは堅調に推移した。一方、下期は、近隣地域におけるツキノワグマ出没報道の影響等により来場者数が減少し、さらに、物価高騰や最低賃金引上げによる経費増加など、厳しい経営環境となった。 このような状況の中においても、利用者サービスの維持向上を目的として、施設設備の改善、オリジナル商品の開発、地域連携イベントの実施、広報活動の強化等を継続的に実施した。また、夏季繁忙期における駐車場適正利用対策や、閑散期における営業時間短縮等、状況に応じた運営改善にも取り組み、収支改善及び利用環境向上に努めた。 今後については、引き続き物価上昇や人件費増加等が見込まれることから、効率的な施設運営に努めるとともに、地域観光拠点施設として、利用者満足度向上及び地域活性化につながる取組を継続していきたい。
所管課による所見（指摘事項など）
ツキノワグマの出没報道の影響や物価高騰、最低賃金引上げにより、経費増加となったものの広告宣伝やSNSを活用した広報活動、各種イベントの開催等により集客増加につながられている。これらのことから、温泉部門、宿泊部門及び直売部門の利用者数は、前年度と比較し大幅に増加し、それに伴い営業利益も増加したと評価できる。 施設の老朽化については、市と連携を図りながら計画的な老朽化対策を行い、市の主要な観光拠点施設の一つとして今後も適切な管理運営に当たってもらいたい。